

今週（8月8日から8月12日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、積み期間の終盤となったが、ビッドサイドの資金調達ニーズは依然として強く、先週と同様に高い水準での取引が続いた。

無担保コールO/N物は、大手行・系統・地銀業態からの調達を中心に▲0.01～▲0.005%近辺での出会いとなった。週を通して、調達サイド・運用サイド共に大きな変化は見られず、8日から10日までの無担保コールO/N物加重平均レートは▲0.009～▲0.008%で推移した。12日は、週末3日積みとなった事で、ビッドレートを上昇させる先も一部見られたが、出会い水準は▲0.01～▲0.005%程度と、概ね横ばい圏となった。

ターム物に関しては、ショートターム物を中心に▲0.02～▲0.005%近辺で引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、大きな変動はなく530～532兆円程度で小幅な推移となった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.09～▲0.08%程度のレートレンジで推移した。投資家・業者ともに資金調達ニーズはしっかりであった。

SCIは、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mと6M物を中心に軟調に推移する展開となった。9日に実施された6M物の入札では、平均利回り▲0.1763%であったのに対し、最高利回りが▲0.1387%と按分レートが流れるやや弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。12日に実施された3M物の入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットではしっかりと推移した。

●CP市場

今週のCP発行市場は、一部の発行体が夏季休業に入ったことで、全体の案件数は少なくなったものの、電気機器、小売業、石油など、複数業態において大型発行が行われたことで、週間での発行総額は7,000億円弱、償還総額は5,000億円弱と発行超のマーケットとなった。市場残高は、先週に引き続き28兆円台を超える高水準で推移した。

発行レートについては、0%から若干のプラスと横ばい圏での推移となった。

9日にはCP等買入オペが4,000億円で実施された。結果は按分レート0.000%、平均レート+0.001%と前回(按分0.000%、平均+0.019%)比で按分は横ばい、平均は買入可能銘柄が減少したことにより低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/8 (月)	28,249.24	0.170	135.40	△ 0.009	△ 0.088	5,326,700
8/9 (火)	27,999.96	0.160	134.86	△ 0.009	△ 0.086	5,321,400
8/10 (水)	27,819.33	0.190	135.20	△ 0.008	△ 0.087	5,297,700
8/11 (木)						
8/12 (金)	28,546.98	0.185	133.35	△ 0.008	△ 0.087	5,307,800

来週（8月15日から8月19日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
8/15 (月)	4-6月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)			
8/16 (火)	6月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	5Y 25,000億円 8/17発行		7月の米住宅着工件数 7月の米鉱工業生産・設備稼働率
8/17 (水)	6月の機械受注統計(内閣府 8:50) 7月の貿易統計(財務省 8:50)	国有林野借入 961億円 8/25借入		7月の米小売売上高 6月の米企業在庫 4-6月期のユーロ圏GDP2次速報 7月の英消費者物価指数
8/18 (木)		TB1Y 35,000億円 8/22発行	20Y 12,000億円 8/19発行	7月の米中古住宅販売 7月のユーロ圏消費者物価指数改定値
8/19 (金)	7月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 6月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 56,000億円 8/22発行		

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/15 (月)	400	71,500	71,900	CP買入 国債補充	▲ 300 9,800	4,000	13,500	85,400	年金定時払い 社会保障費 源泉所得税揚げ TB3M発行▲56000償還58000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3200 個人向け3・5Y償還800
8/16 (火)	500	1,000	1,500				0	1,500	
8/17 (水)	500	▲ 28,000	▲ 27,500	全店共通	▲ 2,100		▲ 2,100	▲ 29,600	5Y発行▲25000
8/18 (木)	▲ 500	▲ 1,500	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
8/19 (金)	1,000	▲ 10,000	▲ 9,000	被災地支援	▲ 2,900		▲ 2,900	▲ 11,900	20Y発行▲12000 交付税借入▲12000期日11000
週間合計	1,900	33,000	34,900	—	4,500	4,000	8,500	43,400	

8/15は日銀予想、8/16以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、週初15日が積み最終日となる。引き続き調達ニーズは強く、今週と同水準での取引が見込まれる。16日からは、新しい積み期間となり、調達に慎重となる先も見込まれる事から、レート水準はやや低下して推移すると予想する。レポ市場のGC O/N物は、▲0.10～▲0.08%程度での推移を予想する。

短国市場は、18日に1Y物、19日に3M物の入札実施が予定されている。また、16日に実施が予想される短国買入オペのオフア額は、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、夏季休業に入る事業法人が多く、閑散なマーケットになる事が見込まれる。期末越えのレート水準や、市場残高の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では、15日に4-6月期のGDP1次速報、19日に7月の全国消費者物価指数、海外では、17日に7月の米小売売上高、4-6月期のユーロ圏GDP2次速報、18日に7月のユーロ圏消費者物価指数などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされまようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入